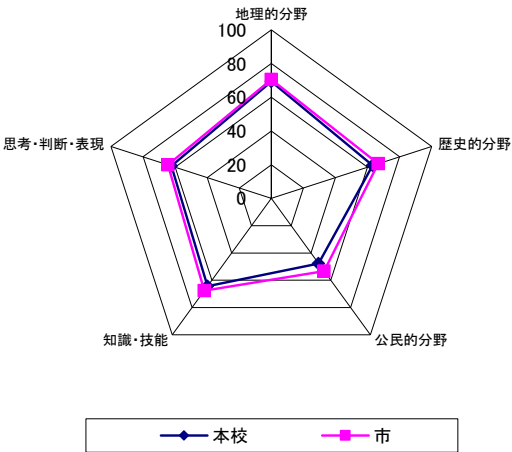


宇都宮市立雀宮中学校 第3学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	地理的分野	69.3	70.5	62.1
	歴史的分野	63.2	66.6	57.8
	公民的分野	47.7	53.3	45.2
観点別	知識・技能	64.4	67.6	59.2
	思考・判断・表現	62.3	64.5	55.7

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
地理的分野	<p>・平均正答率は市の平均を1.2ポイント下回った。</p> <p>○世界の様々な住居について理解していることを問う問題では、正答率が84.9%で、市の正答率を2.6ポイント上回っている。</p> <p>○日本の自然災害(地震)による被害についての理解をもとに判断していることを問う問題では、正答率が91.6%で、市の正答率を2.8ポイント上回っている。</p> <p>●世界の地域区分について理解していることを問う問題では、正答率が68.1%で、市の正答率を5.8ポイント下回っている。</p> <p>●中国・四国地方の地域活性化の取り組み(地域おこし)について理解していることを問う問題では、正答率が62.7%で、市の正答率を4.3ポイント下回っている。</p>	<p>○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの</p> <p>○世界の地域区分については、地図帳や資料集を活用し、地域の特徴を視覚的に把握させる学習を行う。</p> <p>・中国・四国地方の地域活性化については、地域おこしの事例を調べ、地域課題と活性化の関係性を考察する学習を行う。</p>
歴史的分野	<p>・平均正答率は市の平均を1.7ポイント下回った。</p> <p>○徳川家光が改定した武家諸法度の内容について判断していることを問う問題では、正答率が72.3%で、市の正答率を2.2ポイント上回っている。</p> <p>○蘭学について理解していることを問う問題では、正答率が75.9%で、市の正答率を6.2ポイント上回っている。</p> <p>●承久の乱について理解していることを問う問題では、正答率が50.6%で、市の正答率を7.1ポイント下回っている。</p> <p>●殖産興業について理解していることを問う問題では、正答率が66.3%で、市の正答率を8.0ポイント下回っている。</p>	<p>・承久の乱については、朝廷と幕府の関係性の変化を理解させるために、年表や図を活用した学習を行う。</p> <p>・殖産興業については、当時の政府の政策や社会状況を関連付けて理解させる学習を行う。</p>
公民的分野	<p>・平均正答率は市の平均を5.6ポイント下回った。</p> <p>○公共の福祉について理解していることを問う問題では、正答率が43.4%で、市の正答率を1.8ポイント上回っている。</p> <p>●日本国憲法の三つの基本原理を理解していることを問う問題では、正答率が62.7%で、市の正答率を13.1ポイント下回っている。</p> <p>●さまざまな新しい人権が認められるようになった背景について、考察し表現していることを問う問題では、正答率が43.4%で、市の正答率を8.9ポイント下回っている。</p>	<p>・日本国憲法の三つの基本原理については、基本的人権の尊重、国民主権、平和主義の内容を、具体的な事例と関連付けて理解させる学習を行う。</p> <p>・さまざまな新しい人権については、情報化の進展に伴うプライバシー権や肖像権など、新しい人権の必要性を理解させる学習を行う。</p>